

きてみてナース みてなナース

市立福知山市民病院

所在地

620-8505

京都府福知山市厚中町231番地

TEL:0773-22-2101 FAX:0773-22-6181

ホームページ

<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/hosp/>

～一度私たちの病院に来てみませんか？～

第52号 発行日:令和5年2月28日

4階南病棟（小児科） クリスマスパーティー

今年も小児科病棟にサンタクロースがやって来ました。小児科病棟では毎年クリスマスイベントを開催しています。ナースステーション前にはクリスマスツリーやリースなどを装飾し、入院中の患者様にひと時でも楽しい時間を過ごしていただけるよう工夫しています。

12月25日には、サンタクロースの格好をした研修医の先生と看護師が入院している患児達にプレゼントを配りました。コロナ禍で面会制限がある中、治療や入院生活を頑張っている患児達は、プレゼントを貰い素敵な笑顔を見せてくれました。

そして、サンタクロースと一緒に写真を撮ったりと楽しい1日を過ごしました。



新人さんにアンケートをとってみました！

新人さんの声



苦手だったが上達したこと？

- ・タイムマネジメントが上達した。丁寧な仕事を心がけていたが、それだけでは業務が進まないためスケジュールを立て、自分の力を把握することで限られた時間の中で迅速かつ丁寧な仕事が以前よりできるようになったと感じる。
- ・以前は採血やルート確保が苦手で失敗が多く先輩に変わってもらったことがあったが、今では積極的に取り組み技術を身につけられるよう、頑張っています。また、会話が困難な患者様との関わり方も日々の業務の中でどのように関わっていけば良いのか、徐々に理解することができてきたと感じます。
- ・先輩とペアで業務する中でメリハリの付け方を学んだ。
- ・夜勤の朝のラウンドが苦手でもいつも時間がなく焦っていたけど、少しずつ優先順位を考えて計画を立てて回れるようになった。
- ・最初は大人数の患者様の情報収集が大変でどのような情報を取れば良いか分からなかったが、少しずつ情報収集できるようになり立ち立ちできた。
- ・採血がスムーズにとれるようになった。
- ・優先順位を瞬時に考えて動くことが苦手でしたが、日々の業務をこなしたり、先輩方と一緒に回っているうちにだんだんと考えられるようになった。
- ・多重業務の中時間配分を考えながら日勤でも夜勤でも動けるようになった。
- ・患者様の状態を見て、少しずつ病態や治療と合わせてアセスメントができるようになってきた



ケース発表会

経年別2～3年目のケース発表会が終わりました。各々1つの事例を決め看護展開を行い、院内で発表を行いました。準備をするのにすごく時間はかかりましたが、患者様と向き合いニーズを捉え、自身の行った看護を振り返ることで学びを深めることができました。まだ看護師歴の浅い2～3年目にとって自身のつく機会となったと思います。今回の学びを活かして、これからは患者様にとって最善の看護が行えるよう頑張ります。

発表の様子

皆さん自分たちの経験を一生懸命発表しておられます。



2年目へ向けての抱負

- ・何事も根柢を持ち、効率的な看護ができるように正しい知識と技術を学び身につけていきたい。
- ・まだまだ不安なこともあるがこの1年で沢山学んだのでそれを活かして2年目も頑張っていきたい。先輩という立場にもなるのでこれまで以上に責任を持ち1年目の方に頼ってもらえるような看護師を目指したい。
- ・常に進歩・成長し続けていきたいです。
- ・患者様に必要な看護ケアを考えて実践できるようになりたい。
- ・1年目は業務になれることに精一杯でしたが、2年目では疾患や治療、患者様、ご家族からなど多くの情報から1人の患者様について深く知っていききたい。
- ・1人の看護師として自立していく。
- ・積極的に様々な試験や処置に挑戦していく。
- ・先輩という立場にもなるので看護師としての身だしなみや態度など、業務のこと以外にも気を配れるようになりたい。

当院に就職して良かったと感じること

- ・新人教育がしっかりしているので少しずつ学びを仕事に活かすことができる。
- ・先輩とペアで回することで質問や相談がしやすい。
- ・先輩と一緒に回することでリアルタイムで質問もできるし何をすることも見ていてくださるので安心感がとても大きい。
- ・病院全体の雰囲気明るく、とても魅力的に感じた。
- ・急性期病院であるため、沢山の疾患や年齢の患者様が来院されるので、幅広く治療法などを学ぶことができる。
- ・転棟や入院があったときに先輩方に様々な知識をいただけること。